

(日刊)

年6月27日第3種郵便物認可(土曜、日曜、祝日休刊)

# 北海道建設新聞

2024年  
(令和6年)

6月14日  
金曜日



価格の高騰、人件費の増加で中小・零細企業の体力消耗が続いていると指摘。「決算期が集中する24年3月期の業績次第では、季節運転資金の調達に苦勞するケースも発生する」とし、倒産件数が増えるとの見通しを示した。

外観保全に関する工事費などが補助の対象。登録は96件あり、このうち特に重要な79件を指定している。

現行の「小樽の歴史と自然を生かしたまちづくり景観条例」では、両制度に重複して指定を受け

ることができない。そのため、国の登録有形文化財建造物になった場合、市の登録・指定を抹消する必要がある。近年は歴史的建造物の老朽化が進み、所有者の負担が大きくなっているため、複数の制度を活用して維持保全を図れるようにする。

重複に伴い登録・指定を抹消した建造物は、現地視察や景観審議会での議論を踏まえて再登録を検討する。条例改正案はパブリックコメントの意見を反映させ、景観審議会に報告。市議会での議論を踏まえて施行する。

## 瀬尾建設工業で着工

ニセコウッドランズ別荘

【小樽】ニセコウッドランド(本社)で別荘のグラン・ツル。

ニセコ新築に着工した。主体、設備一括で瀬尾建設工業が担当し、11月末までの完成と今冬の供用開始を予定する。

全体で3棟計画するうち、2棟の建設を進めている。1棟当たりW造、2階、延べ233平方分の規模。大きな窓が目玉で、リビングダイニングキッチンと3つの寝室をスキップフロアでつなぐ。複数のデザイン賞を獲得した。

建設地はニセコアンヌプリ国際スキー場から近い曽我487の2など。設計やゾーニング、プロジェクトマネジメントはABD建築合同会社が担当している。残る1棟の着工時期は調整中だ。